

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月13日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7851 URL https://www.kc-s.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 康平
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者兼総務部長 (氏名) 梶山 伸夫 (TEL) 06-6222-7474
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	910	1.6	31	△28.2	33	△40.1	28	△43.7
27年3月期第1四半期	896	10.5	43	164.2	55	82.1	50	82.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第1四半期	5.95		—					
27年3月期第1四半期	10.47		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,338	3,442	79.4
27年3月期	4,461	3,457	77.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 3,442百万円 27年3月期 3,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,720	2.2	30	52.1	32	△30.0	23	△37.8	4.86
通期	3,400	3.0	60	10.9	65	△23.7	50	△24.1	10.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期1Q	5,160,000株	27年3月期	5,160,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	429,053株	27年3月期	429,053株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期1Q	4,730,947株	27年3月期1Q	4,778,753株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における日本経済は、政府による成長戦略や日銀による金融緩和策などを背景に、景気は緩やかに回復を続けており、企業収益や雇用・所得環境の改善などによって引き続き緩やかな景気回復が見込まれております。

一方、円安進行による輸入コストの上昇や、中国経済の先行き不安、ギリシャの政府債務リスクの長期化等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

ビジネスフォーム業界におきましても、企業の経費削減による使用高の減少や競争激化による価格低下、電子化による総需要の減少に加え、原材料の値上がり等の影響を受け、引き続き厳しい状況が続いております。

このような情勢の中で、営業部門におきましては、BPO、情報処理案件獲得に向けた提案営業の推進、金融、通販業界や中央官庁、外郭団体を中心に既存案件の死守と新規先、新部署開拓に注力してまいりました。

生産部門におきましては、品質、生産性向上による利益確保をめざすとともに、外注案件の内製化や省力化に努めました。また、原材料の値上がりを踏まえ原材料使用高の低減に努めました。

以上の結果、売上高は910百万円(前年同期は896百万円)、経常利益は33百万円(前年同期は55百万円)、四半期純利益は28百万円(前年同期は50百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ビジネスフォーム事業

企業のコスト見直しによる需要の減少、価格競争激化の影響により、売上高は前年同期と比べ、18百万円減少の595百万円(前年同期は614百万円)、セグメント利益は80百万円(前年同期は93百万円)となりました。

② 情報処理事業

幅広く新規案件獲得に向けた営業活動を行ったことや既存取引先の新規案件獲得もあり、売上高は前年同期と比べ32百万円増加の314百万円(前年同期は282百万円)、セグメント利益は39百万円(前年同期は34百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末と比べ96百万円減少し、2,425百万円となりました。これは主に「受取手形及び売掛金」が205百万円、「その他」に含まれる「前払費用」が12百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が313百万円減少したことが要因となっております。

固定資産は前事業年度末と比べ26百万円減少し、1,912百万円となりました。これは主に「投資その他の資産」に含まれる「投資有価証券」が4百万円、「保険積立金」が7百万円それぞれ増加し、減価償却の影響により「有形固定資産」が31百万円、「無形固定資産」が6百万円それぞれ減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ102百万円減少し、728百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる「未払金」が27百万円増加し、「短期借入金」が70百万円、「未払法人税等」が13百万円、「賞与引当金」が22百万円、「その他」に含まれる「未払消費税等」が25百万円それぞれ減少したことが要因となっております。

固定負債は前事業年度末と比べ6百万円減少し、166百万円となりました。これは主に「退職給付引当金」が3百万円、「役員退職慰労引当金」が2百万円それぞれ増加し、「その他」に含まれる「リース債務」が11百万円減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ14百万円減少し、3,442百万円となりました。これは主に「その他有価証券評価差額金」が4百万円増加し、「利益剰余金」が19百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日に開示した業績予想につきまして現時点における修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,949,766	1,635,800
受取手形及び売掛金	474,989	680,003
商品及び製品	32,030	33,327
仕掛品	9,209	9,253
原材料及び貯蔵品	21,551	25,150
その他	33,985	41,916
貸倒引当金	△127	△68
流動資産合計	2,521,405	2,425,383
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	350,067	343,199
土地	523,057	523,057
その他(純額)	331,439	306,437
有形固定資産合計	1,204,564	1,172,694
無形固定資産	34,593	28,158
投資その他の資産	700,459	711,771
固定資産合計	1,939,617	1,912,623
資産合計	4,461,022	4,338,007
負債の部		
流動負債		
買掛金	162,553	157,726
短期借入金	406,640	336,640
未払法人税等	19,570	6,284
賞与引当金	40,786	18,538
その他	200,977	209,155
流動負債合計	830,527	728,343
固定負債		
長期借入金	6,720	5,060
退職給付引当金	52,180	56,001
役員退職慰労引当金	30,963	33,136
その他	82,906	72,571
固定負債合計	172,769	166,768
負債合計	1,003,297	895,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,122,678	1,103,509
自己株式	△105,317	△105,317
株主資本合計	3,416,667	3,397,497
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,057	45,397
評価・換算差額等合計	41,057	45,397
純資産合計	3,457,725	3,442,894
負債純資産合計	4,461,022	4,338,007

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	896,613	910,768
売上原価	628,119	666,762
売上総利益	268,493	244,005
販売費及び一般管理費	224,882	212,706
営業利益	43,610	31,299
営業外収益		
受取利息	57	405
受取配当金	1,262	1,350
助成金収入	12,128	-
作業くず売却益	1,008	1,060
その他	929	927
営業外収益合計	15,386	3,744
営業外費用		
支払利息	2,416	1,836
為替差損	649	-
その他	546	51
営業外費用合計	3,613	1,888
経常利益	55,384	33,155
特別利益		
固定資産売却益	61	-
特別利益合計	61	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	1,466
特別損失合計	-	1,466
税引前四半期純利益	55,445	31,689
法人税、住民税及び事業税	5,432	3,550
法人税等合計	5,432	3,550
四半期純利益	50,012	28,139

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	614,316	282,296	896,613	—	896,613
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	614,316	282,296	896,613	—	896,613
セグメント利益	93,350	34,833	128,184	△84,573	43,610

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	595,912	314,855	910,768	—	910,768
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	595,912	314,855	910,768	—	910,768
セグメント利益	80,566	39,911	120,478	△89,179	31,299

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。